

○インスペクターからのコメント（82回）

今日は本当に良い天気の中で活動ができ、嬉しく思います。相生山がテレビや新聞の投書欄など色々なところで話題になっていますね。モノをつくる場合、皆で一緒につくって、完成したときが一番嬉しいし、その楽しみを得るために今、頑張っているというのが我々のモチベーションのかな、と思います。完成しても自然に対して大きな影響は考えられないし、ヒメボタルも共存できると思っています。皆さんで一生懸命完成に向けて取り組んでいきましょう。



岡村インスペクター

何とか結論が出そうな感じになり、先が見えてきました。それまでは今までやってきたことを進めていくしかありません。結論に関わらず、ワーキングとしては、今までなるべく自然を変えないようにということをやってきたわけですから、やはり今後でもできるだけ回復していく方向にもっていくことを考えながら、手を入れていかなければいけませんね。これからも大変ですが、よろしくお願いします。



大竹インスペクター

今日あらためて、やっぱり道路をしっかりつくっていかないと、このままの状況が一番森にとっても人にとってもかわいそうだと感じました。中断中ですが、私たちは着実にデータを蓄積して、安心感を与えられる材料を皆さんに提供していきたいですね。またセンサーカメラも気づけばたくさんのシャッターを切っていて、これまでに撮れた多くの動物たちとどのように共存していったらいいのかなと思います。



長谷川インスペクター



《特集!》
環境に配慮した取り組み
～パート2～ p.2～3

●第82回施工ワーキング

平成25年11月24日（日）に第82回施工ワーキングを開催し、22名が参加しました。

今回は施工ワーキング全体で植生回復活動を行いました。切土法面へのツツジの植栽、シェルター構造上部へのどんぐりの植栽、どんぐりポットづくりなどを分担しました。

◇植生回復活動

施工ワーキングでは、毎年秋の開催日に植栽などのフィールドワークを行っています。今年も天気に恵まれ、気持ちよく活動できました。

ツツジの植栽

昨年挿木したツツジの苗を切土法面に植栽しました。



まずは草刈りから。

地面が硬いので、植栽穴を掘るのも重労働です。

穴を掘って用土を入れ、苗を植えます。



ある程度育つまで草が生えないように生分解性のシートでマルチングを行いました。

今年も7月の施工ワーキングで来年の植栽用にツツジの挿木を行いました。



小さな苗なので、雑草に負けないように蓋ってね!

どんぐりの植栽

どんぐりの苗をシェルター構造上部に植栽しました。



マルチングシートを留める杭を竹で作りました。

どんぐり用とツツジ用でサイズを分けてマルチングシートを用意しました。

植栽作業中...



どんぐりの苗を間隔をあけて植えていきます。



生分解性のマルチングシート

植栽した箇所に木の枝で目印をつけました。



来年の植栽用にどんぐりポットをつくりました。



土づくりのようす



問い合わせ先

名古屋市 緑政土木局 道路建設部 道路建設課内「環境に配慮した道づくり」施工ワーキング事務局
〒460-8508 名古屋市中区三の丸三丁目1番1号
電話:052-972-2873 FAX:052-972-4168

<http://www.city.nagoya.jp/shisei/category/53-3-7-0-0-0-0-0-0-0-0.html>